

第七十四回春季善行表彰並びに特別善行表彰式を開催

春季善行個人・団体九十七、特別善行個人・百二十八表彰

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

令和六年度春季善行・特別善行表彰式を、五月十八日(土)午後一時三十分から明治神宮参集殿において、多数のご来賓、本会役員の出席の下に開催した。今回の表彰式は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、七十四回目、七十三名の個人と二十四の団体計九十七件が表彰された。

また、特別善行表彰は、善行表彰受賞後も引き続き相当期間、善行活動を継続している方々を対象にした表彰であり、その善行活動の実績により、善行金章と同銀章がある。今回の受賞者は、善行金章が四十名、同銀章が八十八名計百二十八名であった。

表彰式は、国歌斉唱の後、高田副会長の「開式のことば」で始まり、次に、山下副会長から日本善行会の紹介の後、勝野会長が主催者としての挨拶を行った。それから、善行表彰受賞者選考委員会を代表して、川口雄選考委員長から選考経過報告が行われた後、受賞者の表

彰に進んだ。表彰は、春季善行表彰から始まり、司会者が受賞者の名前を読み上げ、各受賞者は順次ステージに上がり、勝野会長、山下副会長から、表彰状と善行金章が授与され、得賞歌の流れる中、参加者の盛大な拍手で祝福された。更に、特別表彰善行金章・銀章の表彰に移り、善行表彰と同様、順次勝野会長から各受賞者に対し、表彰状と善行金章又は同銀章が授与され、参加者の拍手で祝福された。

その後、来賓の前年度特別善行表彰の有間行雄氏、在日米空軍横田基地第374通信中隊司令スティーブン・リー中佐が祝辞をそれぞれ述べられた。次いで、祝電が披露された後、春季受賞者代表の守屋友加里氏、善行金章受賞者代表の高橋睦夫氏のあいさつがあった。そして、音楽文化協会森川正子氏による「日本善行会の歌」の紹介と歌唱指導が行われ、力強い歌声が、会場いっぱいに響き渡った。祝賀では、つねむね氏による演芸と紙切りショーが披露され、会場は一層和やかな空気に包まれた。

最後に、相澤副会長による「閉式のことば」で、式は滞りなく終了した。

式辞



一般社団法人日本善行会
会長 勝野 堅介

本日ここに、多数のご来賓のご臨席を賜り、令和六年度春季善行表彰及び特別善行表彰式を執り行うに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび、受賞を受けられます皆様は、北は北海道から南は沖縄県まで、地域社会において、勇気をもって愛の手を差し延べられ、善行を実践された方々であります。

この中には国を越えて日本の地域社会のために善行を行って下さった外国の方々、更に、既に善行表彰を受賞され、その後も長年にわたり善行を継続し、本日の特別善行金章・銀章表彰を受けられる方々がおられます。受賞者の皆様に深く敬意を表します。

本日は、受賞を受けられます皆様も、受賞を契機に、更なる善行を重ねられますよう期待いたしております。日本善行会の精神は、自分の立場や考えに固執せず、思いやりの精神で人に接し、明るく住みよい社会を建設していくというところにあります。人を信頼し、その心を思いやり、尊重して、その人を育てていこうという温かい思いやりです。皆様の思いやりと奉仕の精神に支えられた一つ一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間には大きな輪となつて広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になるものと確信しております。

本日ご列席のご来賓並びに関係者の皆様には、この頼もしい受賞者の皆様に対しまして、今後とも温かく見守り、応援していただきますよう、お願い申し上げます。

終わりに、本日受賞されます皆様並びにご列席いただきました皆様のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げ、私のご挨拶と致します。